

DoDo企画 Kasabutakun FILM 製作

# 石井桃子さんドキュメンタリー映画 上映会

2作品を監督・森英男氏の解説付きで上映します。

## 子どもに本を

## —石井桃子の挑戦

I ノンちゃん牧場

II 『子どもと文学』



日時：2016年10月25日 (火) 13:00～16:00 (開場12:30)

会場：豊田市福祉センター ホール

上映協力金：1,000円

定員：250名

対象：大人

(小学生以下の入場はご遠慮下さい。託児の準備はありません)

### ●石井桃子(1907～2008)

児童文学の編集者、作家、翻訳者として幅広く活躍した。

自宅に開いた「かつら文庫」は、現在、東京子ども図書館にひきつがれている。

代表作『ノンちゃん雲に乗る』『三月ひなのつき』『幻の朱い実』『クマのプーさん』『ちいさなうさこちゃん』他。



### お問合せ・お申込み先

森下 美江子 Tel. 080-5139-0286

青山 和子 Tel. 080-6908-8328

縦木 輝美 Tel. 090-1740-8019

道山 由美 E-mail kmichi@hm.aitai.ne.jp

主催 こどもの本勉強会 はらっぱの会

後援 豊田市教育委員会 豊田市子ども図書室ボランティア 協力 公益財団法人東京子ども図書館



# ドキュメンタリー映画 子どもに本を——石井桃子の挑戦



## I ノンちゃん牧場

宮城県栗原市鶯沢、1945年8月15日の玉音放送の後、石井さんは友人たちと農場建設のために開墾をはじめました。後にここは「ノンちゃん牧場」と呼ばれます。この牧場でのこころみは、後の石井さんの活動の原動力になります。



『ノンちゃん雲に乗る』の刊行、アメリカの友人との交流、子どもたちへの読み聞かせの実践、すべてここからはじまったのです。「石井さんの手は物書きの手ではなく、お百姓さんの手だった!」といわれています。



## II 『子どもと文学』

1954年、石井さんは欧米視察に出発します。黄金期を迎えていた児童図書館と子どもの本の出版状況を見るためです。石井さんを待ち受けていたのは、その後、生涯の友人になる児童図書館員と編集者でした。図書館員たちは、子どもを知り、本を知っていました。また、子どもの本は図書館と密接に結びつき出版されていました。



「How exciting! How challenging!」何人もの図書館員に励まされ、石井さんは決心します。「日本でも児童図書館をこのように充実させよう!」あらたな挑戦がはじまりました。



東京子ども図書館  
名誉理事長 松岡享子

ながい間石井桃子さんのドキュメンタリーをつくりたいと願い、そのための努力をつづけてこられた森さんのフィルムが、いよいよ形になりました。ぜひ応援してあげてください。



映像作家 森 英男  
(DoDo 企画 Kasabutakun FILM)

2007年の春、石井桃子さんが100歳を迎えたことを知りました。『ノンちゃん雲に乗る』の石井桃子? 『熊のプーさん』の石井桃子? 一瞬にして小学2年生の教室の記憶がよみがえり「ほんやく いいももこ」のことを調べはじめました。……

### ●会場へのアクセス

#### 豊田市福祉センター

〒471-0877  
愛知県豊田市錦町1-1-1 (0565-34-1131)

- ・名鉄豊田市駅より南に約1.5km 徒歩約20分
- ・豊田市駅西口より とよたおいでんバス『中心市街地玄関口バス』 豊田市福祉センター行き約10分 (1時間に2本程度: 詳しくは [http://michinavitoyota.jp/portal/bus\\_info\\_town.html](http://michinavitoyota.jp/portal/bus_info_town.html))

